
龍の國

火向 棗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

龍の國

【ZPDF】

Z8603L

【作者名】

火向 粕

【あらすじ】

心を閉ざした竜、ジエルド。その凍りついた心を溶かしたのは異世界からやってきた少女、鈴架だつた。

どうして?なぜ?が連続する世界で少女は何を思い、どう行動するのか。。(亀更新)

人物紹介

・城内鈴架（キウチ リンカ）

17歳 高校一年生

あだ名は『すずちゃん』

ぼおつと街を歩いていた時にトリップしたやつと天然な元
氣少女

童顔故かその言動故か、実際の歳よりも若く見られる。

・ジエルドアイル・フェルデナント・スレイドー
(もつと長いけど、めんどくさいから『ジエルド』でいいじゃん?
b yasu)

『できそこない』と呼ばれた竜

人型超絶美形

鈴華がすごい大切

大切すぎて暴走しちゃうこともしばしば・・・・・・そのたびに周
りを巻き込んでしまう困った君。

*

ステア王国郊外、アミウ河のほとりに、一人の男がいた。

その男は切株に腰掛け、無言で刀の手入れをしていた。

太股に置いた刀を特製の布で磨く。満足のいく仕上がりになると、ひっくり返し反対側に手をつける。

「・・・　ん？」

作業にも没頭していた男が手を止め、空を仰いだ。

ゆらゆらと灰色の空に渦巻き状のなにがが浮き出でている。

「・・・なんだ、あれ・・・？」

フードからのぞく瞳を細め睨むようにそれを眺める。能力を使って調べようかと一瞬考えたが、すぐに打ち消した。

「・・・俺には関係ない、か」

そう結論付け、得体の知れない空から視線を外し、中断していた作業に戻る。

男は知らない。

その渦が、徐々に自分に近づいていくこと。

そして、不幸なのか幸福なのかわからない”モノ”を自分に与えてくれることを。

ソレが自分にとってどんなに大切な物になるのかを。

知らないままの方が良かつたと思つてしまつ程の感情が溢れ出する原因をその身に運び込むことを。

男は知らない。

今はただ目の前にある刀にだけ集中していた。

・ そう結論付け、得体の知れない空から視線を外し、中断していった作業に戻る。

男は知らない。

その渦が、徐々に自分に近づいていくこと。

そして、不幸なのか幸福なのかわからない”モノ”を自分に与えてくれること。

ソレが自分にとってどんなに大切な物になるのかを。

知らないままの方が良かつたと思つてしまつ程の感情が溢れ出す原因をその身に運び込むことを。

男は知らない。

今はただ目の前にある刀にだけ集中していた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8603/>

龍の國

2010年12月18日14時41分発行